



もりメイト倶楽部 Hiroshima 発【森づくり啓発シリーズ】
～こんな事にも関わっています～



薪活(まきかつ)に取り組んでいます！

私たちの活動は荒廃した森を健全な姿に再生させるために、間伐や除伐を行います。次に重要なことは整備により産まれる材を有効利用すること。山から運び出し、製材して木工体験の部材を作り、色々なところで木育を進めてきました。そして昨今、薪ストーブの利用者が増えてきたということもあり、必ずニーズは出てくると見込み活動を進めています。

薪割リプロジェクトの結成

顧問 見勢井 誠

～薪割り機購入～



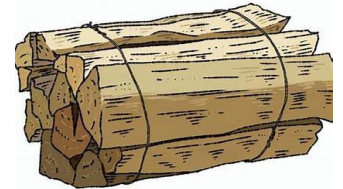
購入した倶楽部の薪割り機

2017年に(株)かんぼ生命保険様からの寄付で「いつか薪割り機が欲しい！」と願っていた薪割り機を購入、「薪づくり」という新しい取り組みを始めることができました。大型移動式で馬力があるので作業が楽に安全に行えるため、効率的です。

さっそく11月から30年来の友人の実家の山(湯来町)で、ナラ枯れ病にかかる前の対策も併せ、大経木の整備作業を行いました。薪をつくり現地の山林で乾燥させていましたが、湯来町の林病院長のご厚意により、広島に近い道路端のプレハブ内で保管を行なうことができ、完売することができました。

～薪作りの条件～

薪を作る条件としては伐倒し運搬しやすい場所の確保、薪割り機の保管場所、薪割り機を搬入しやすい場所、割った薪を乾燥する場所があること等、実際に作業をしてみると色々と制約があり、薪づくりは想像以上に大変なことだということが判り、少しだけ気持ちが萎えてしまったこともありました。



～薪割リプロジェクトの発足と販売実績～



径50センチほどのアベマキを伐倒・玉伐り

「薪づくり作業」は薪割りP(プロジェクト)としてのメンバーを募り作業を行なってきました。慣れない作業に長さは決めていても一定でなく、切り口が斜めになるなども見受けられました。商品としてお客さまへ販売するのであれば決まった長さに統一することが今後の課題だと思います。

2020年度は4軒で6台分販売し、2021年度は電話で営業をすすめ前年度購入頂いた3軒から5台分販売できました。2021年・22年はコロナ禍から薪の作製がままならず、22年度は在庫分だけの販売となり5台分販売したところまで在庫がなくなりました。その後、21年度に購入していただいたお客さまから購入したいと電話を頂きましたが、お断りせざるを得ませんでした。作っていたのは殆どがコナラの優良な薪だと思います。

～来期の冬に販売目指し準備始動～

やっと販路が期待できるようになり、来期の冬へ向けた販売のために、どんどん薪を作る必要があります。「薪割り機でバリバリ～と割る作業はストレス発散になる！」という人もいます。興味のある方はぜひ体験してみてください。

また例会等で整備した材は、薪にする長さに切るなど日ごろから意識を皆さんに持ってもらい、少しでも多く確保していきたいと考えています。

＊ 価格：軽トラ1台 15,000円+送料 2,000円(市内)



軽トラ1台 15,000円で販売。